

FVI「声なき者の友」の輪  
Friends with the Voiceless International



2022年 夏号

URL : <http://www.karashi.net/>

盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。  
わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。  
わたしは良い牧者です。良い牧者は羊たちのためにいのちを捨てます。  
(ヨハネ 10:10, 11)

2月24日、ロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。電撃的にウクライナのクリミア半島を占拠した時と同じように、首都キーウも陥落させられると考えたのでしょうか。世界を一変させた出来事でした。侵攻から3カ月、民間人の死者は4千人を超え、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の発表によると、ロシアの侵攻に伴うウクライナ国内外での避難民が1000万人を超えたとのこと。侵攻前のウクライナの人口は約4200万人だったとされていたので、約4人に1人が避難を強いられたことになります。

ロシア・ウクライナ双方で多くの犠牲の血が流されている中で、「ロシアは悪い、ウクライナは可哀そうだ」という意見が、マスメディアや識者を通して連日流されています。しかし大切なことは、この問題の根源に目を向けることだと思わされます。「いのちの源」であるお方に逆らう「盗んだり、殺したり、滅ぼしたりする」「盗人」と呼ばれている霊的存在を見ることです。この者は、おカネや権力を「エサ」にして政治や経済の世界で力を握っている人々に働きかけ、自分の目的を果たすことを企んでいるのです。この存在は、正義が回復される「その日」には滅ぼされる存在ですが、その時まで私たちは「闇に輝く光」として、いのちを尊重して行動する者でありたいと願わされます。

「私は、いのちと死、祝福とのろいをあなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。・・・この方こそあなたのいのちであり、あなたの日々は長く続く。」(申命記 30:19)

「声なき者の友」の輪 神田英輔

\*FVIの働きは皆様からのご支援に支えられているカタリストによって担われています。 献金で各カタリストをご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。